第2号様式 （第5条）【　公開】

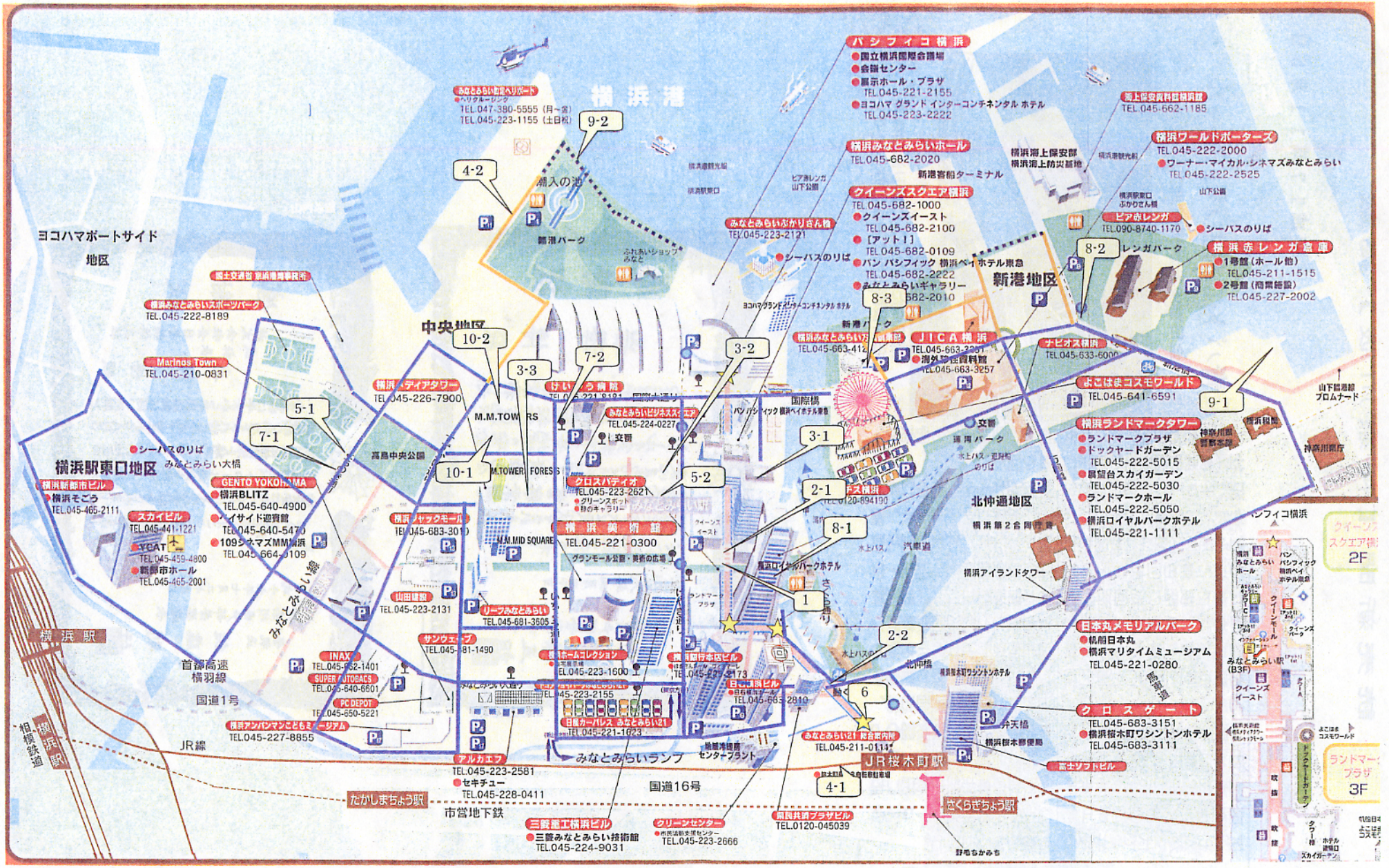
# 提　案　書

※ 記入上の注意

① 第2号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
② 第2号様式は広く情報公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
③ 資料はA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15㎜以上余白を確保してください。
④ 提案書、添付書類は、選考委員会委員には白黒コピーで配付します。

| | |
|---|---|
| 提案名<br>（25字以内） | みなとみらい地区における自主防犯パトロールの実施 |
| グループ名<br>（25字以内） | ㈱全日警横浜支社「自主防犯パトロール隊」 |
| グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績 | 当グループは、平成14年12月1日からボランティア（業務外）として「みなとみらい地区」を中心に毎日、夜間（午後6時から翌日9時までの間）、警備車両1台による自主防犯パトロールを実施してまいりました。その後、関係官庁の推薦、認定・許可を受け、平成17年11月1日に青色回転灯を装備するとともに、「自主防犯パトロール隊」を編成し、みなとみらい交番との情報交換による自主防犯パトロールの実施、マンション居住者との合同防犯パトロール等を継続、実施して現在に至っております。また、平成20年に開催されたアジア・アフリカ開発会議に際しましては、期間中、体制を強化して県警と連携したパトロールを実施しました。 |
| 助成金を受けて行う活動の目的（「地域における良好な環境や地域の価値の維持・向上」にどう資するか具体的に記入してください。） | みなとみらい地区に居住され、あるいは勤務される人達や買い物等で訪れる方々の保護・見守り活動をはじめ、音響族、暴走族、深夜の少年い集、危険行為者の発見と警察への通報、みなとみらい交番との情報交換から多発する犯罪発生区域の重点的かつ威嚇的パトロールの実施等、「 夜のみなとみらいの見張り番 」として活動してまいりま<br>なお、助成金を受けることができましたら、これまでの活動を継続するとともに防犯チラシの配付等、地域住民の防犯意識の高揚にも意を図りたいと考えております。 |
| 助成金を受けて行う活動の内容 | 別添図面のとおり、みなとみらい地区、高島、中区新港町、神奈川区金港町・栄町地区を、青色回転灯を装着した警備車両1台による自主防犯パトロールを実施するとともに、みらいみなと交番との情報交換等連携の強化、及びマンション住民との合同防犯パトロール防犯チラシの頒布等を実施してまいります。<br>・ 実施期間　平成21年10月20日から平成22年3月21日<br>・ 実施時間　午後6時から翌日午前9時までの間 |

# 防犯パトロールルートおよび事例紹介場所




凡例　従来から実施しているルート　今後実施予定のルート　今後実施予定の徒歩ルート

読売新聞【神奈川版】掲載

平成１７年１１月５日

# 青パトで自主パトロール

## 全日警支社がＭＭ地区などで

警備会社の全日警横浜支社（横浜市西区）が自主防犯パトロール隊を結成し、今月から、横浜市内のみなとみらい（ＭＭ）地区を中心に、青色回転灯をつけた車で夜間の巡回活動を始めた。県警によると、警備業者が青パトで地域を警戒して回るのは県内初という。

同社によると、巡回地域はＭＭ地区のほか、同市西区高島、中区新港、神奈川区金港町などの湾岸エリア。６人が交代で、午後６時から翌朝午前９時まで、車で回る。

同社は２００２年12月から「商業ビルやホテル、高層マンションが立ち並ぶ横浜の重要拠点を、安全・安心な街にしたい」（岩沢博支社長）と、巡回用車両で自主的にパトロールを続けてきた。この活動が警察や自治体などから評価され、青色回転灯の設置が認められた。今後は、県警と連携し地域の事件発生状況に応じて、効率的なパトロールを心がけるという。

巡回のため青パトに乗り込む隊員ら（横浜市西区みなとみらいで）

感謝状

岩澤　博　殿

あなたは平素から警察業務に深い理解を示され青色回転灯防犯パトロールを実施する等地域の安全安心まちづくりに対する積極的な支援活動を推進し警察業務の運営に多大な貢献をされましたここに感謝の意を表します

平成十九年二月二十日

神奈川県戸部警察署長
警視正　遠藤五朗

感謝状

株式会社全日警横浜支社
支社長　岩澤博　殿

貴支社は平素から警察活動に深い理解と積極的な協力をされ特に平成十四年からＡＮＳＳＭＭ巡回機動隊を編成しみなとみらい地区の自主防犯パトロール活動を推進して地域の安全安心街づくりに多大な貢献をされましたその功労をたたえここに深く感謝の意を表します

平成十七年七月二十九日

神奈川県戸部警察署長
警視正　佐藤則行